



新し い 波 和 歌 山



自由民主党和歌山県第三選挙区支部発行 平成17年3月8日(第2版)

海南湯浅道路が、全国ネット高速道路に編入

4月1日実施へ

料金引き下げ、海南 吉備間が五〇〇円に！

ETC通勤割引(50%割引)・ETC深夜割引(30%割引)も適用に



自民党道路調査会「高速道路のあり方に関する検討委員会」委員長 二階俊博代議士

高速料金値下げ効果・高野熊野世界遺産効果の相乗効果で、地域の発展、高速道路の紀伊半島一周に大きな期待

海南湯浅道路は、四車線化に向けた用地買収を進めてきた結果、平成十七年四月に全国料金プール制の高速道路網に編入される見通しとなった。高速道路網に編入されることにより、料金の見直しが行なわれ現行(九百三十円)の半額程度の五〇〇円(海南IC)〜吉備IC)となるほか、ETC通勤割引(半額)・ETC深夜割引(30%割引)の適用区間になる。

高速道路料金が安くなることによる経済効果や通勤時の海南市〜有田市間の国道四二号の渋滞緩和、交通事故減少など、大きく利便性は向上することが期待される。特に昨年五月の社会実験では、国道四二号の渋滞緩和に大きな効果があった区間だけに、ETC通勤割引を利用すれば、これまでの四分の一近くになる二百五十円は、地元にとって朗報といえる。

和歌山県では、二〇〇三年十二月二十五日に開かれた国土開発幹線自動車道建設会議で、白浜〜すさみ間が無料道路である新直轄方式へ移行したことをはじめとして、一昨年十二月に開通した御坊〜みなべ間、平成十九年度にはみなべ〜田辺間の高速道路が開通し、さらに新宮那智勝浦道路の一部開通などが予定されており、二階代議士が、県議会議員初当選時から提唱してきた「高速道路紀伊半島一周実現」は着実に進んでいる。



主な区間	新料金	現行料金	ETC通勤割引料金
吉備-海南	500円	930円	250円
吉備-和歌山	850円	1430円	450円
吉備-りんくうJCT	1600円	2180円	800円
吉備-岸和田泉	1800円	2380円	900円
みなべ-和歌山	2050円	2630円	1350円
印南-和歌山	1750円	2330円	1200円
御坊-和歌山	1500円	2080円	1100円

いずれも普通車。ETC通勤割引料金は、ETCを利用して、午前6時から午前9時、午後5時から午後8時の間に高速道路を利用した場合に適用される料金。上表数値は、編集チーム推計による。

自由民主党道路調査会

「高速道路のあり方に関する検討委員会」

委員長 二階俊博代議士は

次のように語った。

高速道路もようやく紀伊半島一周に向かって、着実に前進して参りました。海南〜吉備の間が遂に高速道路全国プール制の中に編入され、従って道路料金も五〇〇円に引き下げが決まりましたことは、地元として大変喜ばしいことでもあります。

この引き下げの効果が、県経済、観光振興に大いに役立つことを期待しています。

ETCの活用も、近ごろは盛んになって参りました。南部まで開通による利便性も、県民の皆さんの間で積極的に語られるようになって参りましたが、今後、一層力を注いでみなべ〜田辺、田辺〜白浜、さらに白浜〜すさみに向けて、県、市町村と協力し、早期完成に努力を傾けて参りたいと思います。すさみ以南は今後の大きな課題であります。紀伊半島一周こそ全ての県民の夢であります。これからも懸命の努力を誓うものであります。

二階俊博 衆議院議員

近畿自動車道紀勢線のこれまでの状況

区間	延長	状況
府県境〜海南	24.4	昭和49年10月25日 供用開始
海南〜吉備	10.2	海南湯浅道路として、昭和59年3月28日供用開始 平成10年12月25日施行命令、4車線化事業中 平成17年4月に高速道路に編入
吉備〜御坊	19.4	湯浅御坊道路として 平成6年7月11日吉備〜広川間供用開始 平成8年3月30日広川〜御坊間供用開始
御坊〜南部	21.4	平成15年12月14日暫定2車線供用
南部〜田辺	5.9	平成9年12月25日施行命令、事業中 平成19年度中に供用開始予定
田辺〜白浜	14.0	平成10年12月25日施行命令、事業中
白浜〜すさみ	24.0	平成15年12月25日、新直轄(無料)区間に選定
すさみ〜那智勝浦	39.0	昭和62年9月、予定路線に指定
那智勝浦〜新宮	15.7	昭和62年9月、予定路線に指定 平成19年度中に、国道42号那智勝浦道路(新宮市〜那智勝浦町川関間)の9キロが開通予定
新宮〜県境	3.3	昭和62年9月、予定路線に指定
総延長	177.3	



1、海南湯浅道路の概要

区間：和歌山県海南市〜有田郡吉備町
延長：L=9.8km(2車線)
料金：930円(全線利用：普通車)
平均断面交通量：19,500台/日(H15)

2、これまでの経緯

昭和47年10月 一般有料道路事業許可
昭和59年 3月 供用開始(2車線)
平成 8年12月 高速道路として4車線化を図る整備計画
平成10年12月 施行命令
平成11年 1月 工事実施計画認可
平成17年 3月 詳細設計、用地買収が概ね完了
平成17年 4月 高速道路編入